

令和5年度 第1回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和5年5月24日（水曜日） 15時から17時まで

出席者 佐藤委員、稲垣委員、神作委員、芝委員、高江洲委員、蛭川委員、藤田委員、古橋委員
美濃口委員、安井委員、横田委員

傍聴 6名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長外川 他5名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none">・資料確認 次第 資料1 令和5年度東京都相談支援従事者研修検討会委員名簿 資料2 東京都相談支援従事者研修検討会設置要綱 資料3 令和5年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案） 資料4 令和5年度東京都相談支援従事者研修検討会 年間活動方針及び活動計画案について 資料5 令和5年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案） 資料6 私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.8 参考資料1 令和4年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告 参考資料2 令和4年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告 参考資料3 ファシリテーション研修 ちらし 参考資料4 令和5年度 相談支援従事者指導者養成研修会 プログラム ・本日の検討会は、記録のため速記の方が参加をし、録音をすること、傍聴者がいることについてもご了解いただきたい。・資料の公開について、検討会設置要綱資料の2の7の規定により、議事録及び資料は公開することになっているが、本日の出席委員の議決により、非公開ということもできる。公開の場合、東京都心身障害者福祉センターのホームページで掲載する。
-----	---

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

地域支援課長	<ul style="list-style-type: none">・事務局を代表して、お忙しい中、委員の委嘱についてご内諾いただき、感謝申し上げます。・相談支援従事者研修は、東京都における相談支援サービスの質を高めるために必要不可欠な研修。・令和5年度は初任者研修、現任研修、主任研修など、それぞれの研修が一層つながりのあるものとなるよう、検討委員の皆様のお知恵を拝借したい。・相談支援の研修については身近な地域に根差した人材育成を進めることが、時
--------	--

	<p>代の要請としてあるため、区市町村と連携して研修をどのように実施するかというところについても、ぜひお知恵をお借りして、ご議論いただけるとありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の相談支援従事者研修は、講義はオンラインを活用しつつ、演習については一部オンラインを残しつつ、原則集合で実施する。ぜひ皆様の活発なご議論を踏まえ、実りのある研修にしていきたいと考えているので引き続きご理解とご協力をお願いしたい。
--	--

3 委員紹介（自己紹介）

各委員	(省略)
-----	------

4 検討事項

(1) 委員長選出

安井委員	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、法政大学の佐藤教授を推薦する。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> 承認する。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、委員長として頑張っていきたい。ご協力のほどよろしくお願ひしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 先の進行は、佐藤委員長にお願いする。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 副委員長の指名については、今期は本会議の後半にグループで話し合いをし、その総意で副委員長を選出していただきたい。 今年度は委員のうち約半数が変更になっているため、検討会のこれまでの経緯について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援従事者研修は、平成18年度から始まり、平成28年度に国の社会保障審議会が相談支援専門員の質の向上に向けて、研修カリキュラム見直しの提言があった。これを受け東京都では、新たなカリキュラムに対応した研修が実施できるよう、平成30年度に当検討会が予算化され、実施をすることになった。 東京都では、平成30年度以前も研修プログラムの作成に当たり、都内の相談支援専門員や障害当事者の皆様の協力を得て、本人主体や社会モデルといった理念を柱とした研修づくりを行ってきた。 平成30年度から設置された研修検討会でも、東京都が柱としてきた理念を継承しつつ、国が示した新しいカリキュラムに対応するプログラムを検討し、令和元年度に主任研修、令和2年度に初任者研修、令和3年度に現任研修のベースとなる教材が完成した。 途中、コロナウイルス感染症の流行により、オンラインでの研修実施となり、オンライン版の研修教材も必要となったが、皆様のご協力により昨年度には全てのオンライン教材も完成した。 令和3年度の研修検討会の総括として、研修実施にはプログラム作成と当日の

	<p>研修運営、そしてそれらの結果を振り返り次につなげるために全体を見渡すことが必要という意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そこで令和4年度の検討会では、これまでの研修別の検討チームではなく、課題別のチーム体制で検討を行った。その結果、初任者研修、現任研修、主任研修で異なった研修のツールにつながりを持たせる、新カリキュラムで導入された区市町村での実習の説明会を実施する、東京都の相談支援専門員育成ビジョンとして全ての研修の土台となる「私たちが目指す相談支援専門員の姿」の更新を行うなどの成果があった。 ・しかし、今度は研修の検討チームがないことで、各研修教材のマイナーチェンジや、研修の説明会の実施などがうまく進まないという課題が生じたため、令和5年度は研修別チームを再開させることが引継ぎ事項となっている。 ・東京都は、例えば主任相談支援専門員が少ない地域があるなどの地域格差がある中で、他の都道府県には無いような大規模の研修を、質を均一に保ちながら実施をしていかなければならないといった課題がある。 ・これらの課題について、検討会委員だけで取り組むことはできないので、研修づくりに加わってくださる方を広げ、相談支援専門員養成に関わる方々が循環する仕組みづくりも課題になっている。
--	---

(2) 年間活動方針及び活動計画案について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・年間活動方針及び活動計画案について、昨年度の引継ぎ事項を踏まえて事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<p>(昨年度からの引継ぎ事項について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料1、<u>3</u>ページ「来年度に向けて」参照。 ・1点目、「検討会の検討体制の見直し」について。昨年度は、課題別の検討チーム編成のみだったが、今年度の検討委員は課題別検討チームと研修別検討チームの複수에所属していただくこと。研修別チームは協力者にも参加していただき、研修講師となる人材が循環していく仕組みを目指していく。主任研修の受講者推薦について官民協働で取り組む方法と推薦の要件について検討すること。演習時に使用する事例の刷新の検討が挙げられています。 ・2点目、「実習対応者（区市町村及び拠点機関）のバックアップ」について。昨年度より実習対応者向け説明会を実施し、後日動画での配信を行い、一定の評価が得られたことから、今年度も継続して実施する予定。ファシリテーターが研修の演習時に得た区市町村の実習対応の情報をフィードバックしていただき、今後に生かせる仕組みをつくること。実習対応する区市町村側の自治体の規模や受講生の多寡により、抱える課題も様々であることから、実情に合わせたバックアップについて検討が必要。 ・3点目、「研修補助教材の必要性の検討」について。研修の時間以外に受講生が繰り返し学習できるような、また現場に出てからの学び直しに利用できるよう

	<p>な視聴覚教材の作成について、その要否や本検討会で検討するかどうかも含め検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4点目、「私たちが目指す相談支援専門員の姿の更新」について。Ver. 8を作成し、今年度の研修から使用することになっているが、当初予定していた相談支援専門員を知らない人にも分かりやすく役割を伝えるという部分について、今年度改めて検討をしていく。 <p>(年間活動方針及び活動計画の事務局案について) 資料4 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①区市町村および拠点機関での実習対応について、地域の実情に合わせたバックアップ方法を検討する。 ・ ②研修に携わる人材の選出の考え方や循環の仕組みについて検討する。 ・ ③演習で使用している架空事例の刷新、受講者向けの視聴覚教材等の補助教材の要否についての検討を行う。 ・ ④研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築する。 ・ これらの活動方針案を踏まえ、今年度は課題別の検討体制と研修別の検討体制の二つの体制で進めていき、委員の皆様にはそれぞれの体制に属していただく形を案とした。 ・ 課題別の検討体制は、「内容整理」と「人材育成」のチームに分かれ、検討を進めていきたい。検討会は年4回なので、次の検討会までに各チームでテーマを検討し、結果を次の検討会で共有したい。チーム編成については、これまでの委員の経験や、新規委員とのバランスを考慮した。事務局案のため、本日議論をして決めていただきたい。 ・ 各チームの取組内容について、内容整理チームは次年度の研修での使用に向けて、演習内で使用している事例を現在の状況に合わせた事例へと刷新すること。また、「相談支援専門員の目指す姿」のVer. 9を作成すること。 人材育成チームは、実習説明会の内容の精査および実習協力者、行政へのフォローやバックアップの方法について検討をしていく。 ・ 研修別の検討体制については、研修ごとに担当を分け、研修教材作り、ファシリテーター説明会での説明、演習でのファシリテーターについてご協力をお願いしたいと考えている。検討委員の方の負担が大きいということは、これまでの課題としても挙がっていることから、研修協力者になっていただく方にも、その中心的な役割をお願いしたいと考えている。研修別のチームについては、準備の都合上、年度をまたいで動いているチームもある。詳しくは次の研修実施計画で報告する。 (年間活動計画案について) ・ ここでの意見交換やこの後のチームごとに話し合いの時間の結果踏まえ、活動内容の欄に年間スケジュールとしてまとめていきたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問、意見はあるか？

横田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・検討チームの割り振りについて。今年度、国研修の人材育成コースを受講する予定でいる。課題別検討体制の内容整理チームに自身の名前があるが、国研修との連動性を考えると、人材育成チームのほうが良いのではないかと。ご検討いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この後、神作委員にもお尋ねしたいが、国研修の人材育成のテーマはいわゆるスーパービジョンについて取り上げて、それを都道府県の研修でどう生かしていくかというところかと思う。スーパービジョンの部分は内容の整理にも関わっており、現任研修と初任者研修の実習の中身にも関わってくるので、そういった面ではつながりはあるかと事務局としては考えている。そこも含めて、昨年度人材育成コースに参加された神作委員にも、ご意見いただきたい。
神作委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、国研修人材育成コースを受講した。確かに今回の内容整理と人材育成という内容で考えると、国研修を受講して、その内容をダイレクトにこの検討委員会に持ってくるということであると、人材育成のほうが内容的、実動的にも有効かと思ったところ。まだ、この配置が検討段階ということであれば横田委員に人材育成チームに入っていただくのも一つかと思う。 ・今年度の国研修をどなたが受講して、それをダイレクトにどのように生かすかというところについては横田委員以外も関連してくるところかと思うが、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらからの推薦はケアマネジメント基礎コースに稲垣委員、地域づくりコースに古橋委員、人材育成コースに横田委員に、それぞれ受講いただく予定にしている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・古橋委員はどうか。
古橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・どのチームでも大丈夫。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、ご意見を頂戴したので、横田委員と古橋委員のチームを入替えということでご了承いただけるか。
各委員	(了承)
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・恐らく人材育成と言われる枠の中かもしれないが、検討委員になると、今後かなり幅広くやっていくことになろうかと思う。ある意味オールマイティな、プロフェッショナルな皆様にご参集いただいているので、今後は広い知識を共有し合っていたきたいと思っている。 ・資料4の裏面の「年間活動計画案」について、この後グループで検討いただく際に、このスケジュール表に、グループ内での年間スケジュールを入れ込んでいただき、後半ご報告いただく形としたいがよろしいか。 ・今年度の活動方針及び計画については、この形で事務局案を決定とさせていただきますので、ご承認いただけるか。
各委員	(了承)

(3) 令和5年度研修実施計画について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none">・続いて、検討事項の(3) 令和5年度研修実施計画について。既に令和5年度も2か月たっており、検討委員の皆様も既にフル稼働で対応いただいているかと思うが、この間の動きについて、事務局のから説明いただけるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度の年間研修実施計画と現時点までの実施状況について説明する。・令和5年度の相談支援従事者研修の定員規模、初任者研修で100名増の600人、現任研修で270人減の630人。そのほかについては変更なし。・実施時期については、初任者研修が9月から1月にかけて、現任研修は6月から8月、主任研修は2月から3月に実施予定。専門コース別研修①は実施時期は未定だが、ケアマネジャーとの連携をテーマに、1日オンラインでの実施を検討している。演習指導者養成研修は、初任者研修にかぶせる形で9月から3月にかけて実施、同様に現任研修にかぶせる形で、専門コース別研修②をファシリテーション研修として実施する。・国の指導者養成研修については6月と3月に実施予定で、参加者については先ほどの報告のとおり。・現在までの研修の準備状況についてご報告する。・初任者研修と現任研修のファシリテーターの依頼と調整は、昨年度の3月末から着手し、5月15日に調整結果を伝えた。現任研修は98名、初任者研修は85名の方々にご協力をいただくことになった。・今年度の研修は、昨年度までに完成したプログラムと教材をベースに実施する。既に準備を進めている現任研修については、4月24日に受講の申込みを締め切り、5月26日には受講決定の通知を送る予定。教材については、今年度も昨年度の検討チームのメンバーに引き続き協力をいただき準備を進めている。講義動画については、事務連絡と都の施策についてのみ改めて撮影した。また、昨年度に引き続き、区市町村説明会を6月6日に実施予定で、今年度も拠点機関の方々にも受講をしていただけるようにしている。これについては、後日YouTubeでも研修終了まで限定公開をする予定。・初任者研修は本日の検討会で、今年度の検討体制を確認後準備に入る。現任研修同様、昨年度までに完成した教材を使用するので、研修別の検討チームに教材の内容の確認や調整に取り組んでいただきたい。また、初任者研修は講義部分と言われる部分がサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修の一部にもなっている。基礎研修は年2回実施するが、第1回については実施時期が既に準備に入っているため、第1回の基礎研修用の講義の教材は、令和4年度のものを使用する予定で、事務局にて調整する。・演習指導者養成研修について、研修チームは3年間かけて次の人に渡していくというサイクルで進めてきている。今年度は新しい協力者の方に入っていたく年度になるので、次の協力者に加わっていただき、主に昨年度の教材を使って、研修の準備に取り組む予定になっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・専門コース別研修②については、ファシリテーション研修として実施する。この研修は、昨年度からの課題の中でも伝えたとおり、演習指導を担う人材不足が課題となっていたことから、新たな人材育成や地域での中核人材の育成を目的に、今年度初めて実施する。受講対象者を主任相談支援専門員及び現任研修を2回以上受講した方としており、演習指導者研修よりベテラン層の受講を想定している。プログラムについては、ファシリテーションスキルに関する講義が半日、その後、ファシリテーター説明会に参加をし、ファシリテーションの実践として、現任研修での演習指導者を務めていただく、その後、振り返りを主とした研修を半日実施するという形になっている。演習指導者養成研修と同様のものと考えていただきたい。こちらは、既に受講者も決定し、通知済み。講師に演習初日の準備を進めていただいている。 ・主任研修も昨年度の教材を使って、昨年度の講師の方々と実施することを考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご説明について、質問、意見等はあるか。 ・私から質問したい。現任研修は今月26日で締切ということだが、今の申し込み状況はどうか？
事務局	240名程度
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・やはりファシリテーターの方は大事。 ・もう一つ、参考資料3の「ちらし」と書いてあるファシリテーション研修について。ステップアップした形のファシリテーターが必要なのではないかということ、長く検討会で検討されてきた中で、ようやく専門コース別研修②として、実施できることになり本当に良かったと思っている。 ・ほかになければこのスケジュール案で進めるということでご了承いただけるか。
各委員	(了承)

(4) 検討体制(チーム)に分かれてリーダーの選出等

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームの席に移り、リーダーの選出と、年間のおおよそのスケジュールの確認を話し合っていたいただきたい。 ・時間は、一旦30分で区切り、様子を見てお声がけしていく。 ・話し合い終了後に各グループのリーダー選出の結果と話し合い内容の概要について報告をしていただきたい。 ・大変申し訳ないが、傍聴の方については自席で傍聴を願いたい。
	(グループ討議)

(5) 副委員長選出

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none">・各検討体制チームからのリーダー選出と、スケジュールについて話し合いの結果のご報告をお願いしたい。・まず、内容整理チームのリーダーからご報告をお願いしたい。
古橋委員	<ul style="list-style-type: none">・内容整理チームリーダーに拝命された。・特に三つのポイントで話を進め、その中でも二つを早めに進めていこうということでスケジュールの整理をした。・まず一つ目が、佐藤和也さんという架空事例のブラッシュアップについて。なじみの佐藤和也さんなので、その中の話題が現在には合わないような部分もあるのではないかと、具体的には、AKBというフレーズなど、細かいところも含めて、事例のブラッシュアップをしようということを挙げている。・二つ目が、相談支援専門員の目指す姿について。Ver. 8から9へということについて、まず私たちチームが理解し、整理してVer. 9の作成をしていこうと話した。出来上がったものを各研修において、同じ見せ方、伝え方ができるようにしていこうと話した。・今申し上げた二つは急がれると、スケジュールを立てている。・三つ目は補助教材「スタディサプリ」について。これについては可能な限り、進めていこうと話した。改めて、ほかの参加した方たちも見直せるツールにしていけるほうが良いのではないかと。その中、見直せるツールという言い方をしているが、それ以外にも復習用という面もあるし、強化、深掘りしていくという面もあるのではないかと。現実的に時間や余力も考えると、復習というところであれば、今までも講義動画はあったので、そのアーカイブは今年度もやっていたいけるのではないかと。強化、深掘りというところは、余裕があれば進めていこうと話した。・最初に申し上げた一つ目、二つ目というところを主軸に、三つ目のスタディサプリも可能な限り進めていくという話になった。
佐藤委員長	続いて、人材育成チームのほうからご報告をお願いしたい。
藤田委員	<ul style="list-style-type: none">・引き続きよろしくをお願いしたい。・前年度は実習づくりを主に手がけてきたが、今年度は人材育成も含めてチームとして動いていく形になる。チームとしてどの辺をゴールに据えるかは、まず一つ課題。そう考えると、行政のフォローや地域人材の育成という話の中では、我々のチームが、地域の現場で活躍されている相談支援専門員の方たちを直接育てるのではなく、その方たちを育ててもらう自治体の担当者や拠点機関の皆さんのフォローをしていくための仕組みをつくっていくことを、このチームの目標にしたいと考えている。・そのために、人材育成チームとしては、年間を通して昨年度から引き続き、今も現任研修の自治体向け説明会の準備をしているが、同様に初任者研修の自治体向け説明会、それから現任研修の自治体説明会なども予定をしながら、進め

	<p>ていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の検討会の最後のほうで主任研修の対象者の要件をどうするかといった話もあった。要件自体をルールにすることも必要かというところではあるが、ただ、地域で活躍される主任研修を修了した相談支援専門員の皆さんを、どのように自治体の担当者の皆さんや拠点機関の皆さんが引き上げていくかといった仕組みをつくっていくというふうに思っている。 ・時期は、現任研が既にスタートをしているので、前年度の検討委員含め、協力者の皆さんにもご協力をいただいて進めているが、このチームでは今年度の初任研に向けて、まずは準備をしていく。7月をスタートに、前年度使ったものも含めて、修正をしながら進めていくが、その際には、内容整理チームで、初任者研修の中身についても微修正等あるかと思うので、そちらのチームの皆さんとどういうふうに協働してやれるか。こちらから初任研のチームに合流、その上で情報を共有して、初任研の実習を組み立てていくという形で、まずは進めていきたいと思う。初任研の実習の説明会が終わったところで主任研修もあるので、要件がちりではないけれども、どういう形で自治体の担当者の皆さんに主任研の推薦をしていただくかについての検討もしておかなければならないので、そういった仕組みを打ち合わせるための時間もつくっていききたいと考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・内容についてお互いのチームで共有できたというところで良いか。やはり研修の連動性が、この体制だと意識できるということがよく分かった。 ・今リーダーの選出がなされたので、検討事項の5番のほうに移る。選出を受け、藤田委員と古橋委員を副委員長に選任させていただきたいが、皆様、ご承認いただけるか。
各委員	(了承)
(6) その他	
蛭川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・研修別の検討体制は、メンバー等どのように進んでいくのか気になっているがどうか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・協力者については事務局でお声がけしていくが、皆様からもご推薦の方がいらしたら、情報の提供をいただきたい。
安井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員と協力者が協力していくことになると思う。去年も課題としてあったのが、主任研などはリーダーがおらず、うまく研修全体が回らなかった部分があり、誰かリーダーになってほしいという話もあったので、おそらく検討委員で、かじ取りをしてほしいという意味の検討委員の立場でいいのか。一緒になってやっていくというイメージ
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の協力者については、新しい方も、先輩方も入っていただくイメージだと思うので、その中でかじを取る方は、また決めていただくことになると思う。チームチームのメンバー構成や役割は今後決めていくことを想定しているが、よろしいか。

蛭川委員	<ul style="list-style-type: none"> • どのぐらいの時期にそのメンバーが分かり顔合わせをできるかは、この後事務局から情報提供があるということでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • そのとおり。そのための第一歩として本日終了後に皆さんにご相談をさせていただきたい

6 閉会

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。では事務局へお返ししたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 第2回検討会の日程は、9月8日金曜日の午後2時から4時でお願いしたい。 • 以上で閉会する。